

2025年度

学校名 横浜市立幸ヶ谷小学校

対象学年 第6学年

① 学習指導案

プログラム	No. 「地域景観プランナーになろう」
単元名 (全時間)	6-1 笑顔と感謝の花束を贈ろう ～幸ヶ谷の魅力発見 写真展～
学習のねらい	「より多くの方に幸ヶ谷のまちの良さを広め、感謝の気持ちをあらわしたい」という思いの実現に向けて、今まで過ごしてきたまちの場所や人ものとかかわりながら感じた魅力が表れるように写真を撮り、写真展として発信する活動を通して、自分が住んでいるまちのよさを新しく発見したり、再認識したりするとともに、魅力あるまちのためにはそれらを守る人の努力やまちのために働く人々がいるということを知り、そのまちの一員であることを自覚し自分にできることを行動していこうとする。
学習内容	1 小学校生活最後の総合はどんな総合にしたいか考えよう。 2 写真の魅力、技を知ろう。 3 発信したいまちの魅力の情報を集めよう。 4 まちの魅力が伝わる写真を撮ろう 5 まちの魅力を伝える写真展を開催しよう。
参考資料 準備品 実施場所等	第51回横浜無名会写真展・2025 第10回気楽写友会 写真展～人生、仲間と写真がある～ 株式会社フォト井上 井上様 武田康夫先生 芹沢明彦様 準備品：タブレット デジタルカメラ ダイソー カラーボード 横浜新都市ビル（そごう横浜店9階）シビルプラザ

学習の流れ

I 小学校最後の総合はどんなことをしたいか考えよう (総⑥)

○まちについて歩いて調べたり、地域の方、区役所の方に話を聞いたりする。

○今年度取り組むテーマを決める。

- ・今年度の総合はお世話になった幸ヶ谷小、幸ヶ谷のまちのために何かできることはないかな。
- ・まちを歩いてみたけど、改めて家の近くでない知らない場所も多いし、新しく変わったところもあるね。
- ・歴史や公園、市場に商店街いろいろな場所があるのも魅力。今までの総合で学んだことも生かしたいね。
- ・区役所の地域振興課の方は、高齢者と子どもが暮らしやすいまちにしたいということや、「GREEN EXPO」に向けてたくさんの人に来てほしいと言っていたよ。
- ・まちの魅力や幸ヶ谷小の魅力をより多くの人に、分かりやすく伝えたい。
- ・写真でPRしているポスターなどはインパクトがあって分かりやすいな。

小学校最後の総合は、幸ヶ谷のまちの魅力が伝わる写真を自分たちで撮影して、さまざまな人に広くまちの魅力を発信していこう。

今年度の総合で大切にしたいことや目的を一人一人がしっかり考えるために、クラスみんなで思いを引き出す時間を十分にとる。  
また、ゴールを想定して、自分たちで見通しがもてるように目的や活動の計画を考える。

自分の歩きたいところに行けるように安全管理として、地域に昔から住んでいる方をサポーターとして来ていただき、街を歩きながら、いろいろな地域にまつわる話や魅力を聞く。

## II 写真の魅力、技を知ろう (総⑩国③)

- 写真集などから写真の良さを探り、写真の魅力について話し合う。
- 写真の撮影の仕方を専門家の方に撮影するときのコツやプロが思う写真の魅力、心構えなどを教えてもらう。
- 教えてもらったことを生かして、いろいろな場所や、もの、人を撮影してみる。
- 撮影した写真を見比べながら、自分たちにとっての「良い写真」「魅力が伝わる写真」について考える。
- 近くで開催している写真展に行き、工夫やプロの写真から学んだり写真展開催の見通しをもったりする。

- ・ 動画では見逃してしまう一瞬を残せるところや後からその場面を思い出せるのが魅力だね。
- ・ 写真集を見ると、アップとルーズがかなり重要だね。
- ・ 明るさも考えないといけないな。一枚一枚こだわる必要があるね。

卒業アルバムの写真や、宿泊体験学習の写真を撮ってもらうことを通して、プロのカメラマンの方の様子を意識して観察する。また、必要なスキルや撮影するにあたって大切にしていることを教えてもらえるように専門家の方と出会えるようにする。

学区内で行われている写真展に行って、実際にどのように写真展が催されているかを知るとともに、地域の魅力を撮影している方の話を聞く機会をもつ。

## III 発信したいまちの魅力を知ろう、情報を集めよう(総⑮) IVと並行

- 学校、保護者、地域の方に、伝えたいまちの魅力や残していきたい景色を聞き、分析する。
- 自分たちでも実際にまちを歩き、視覚だけでなく、聴覚や触覚などいろいろな感覚でまちの魅力を探す。
- 地域の方や保護者の方が感じているまちの魅力などと照らし合わせながら発信していきたい魅力について考える。

- ・ まだまだ知らない魅力がたくさんあるね。
- ・ 人を写すか、景観を写すか。難しいな。
- ・ 協力してくれたまちの人の温かさが伝わるようにしたいね。

横浜市都市整備局の「景観まちづくり学習」で、まちの「景観」のいろいろな見方を知り、自分の視点で新たにまちを見つめる機会や、人や場所とかかわる機会をもつ。

アンケートなどで、全校児童、保護者の方に魅力を感じる場所や、写真に残していきたい場所などを聞き、魅力の発信が、自分たちの自己満足ではなく、いろいろな人の思いを乗せて活動していくことができるようにする。

## IV 幸ヶ谷小写真展を開催しよう。(総⑩) IIIと並行

- 幸ヶ谷小の各学年、学級、学校の行事の写真撮影する。
- お世話になった先生方や、学校にかかわってくださっている方、思い出の場所を自分なりの撮影の仕方を考えて撮影する。
- 撮影した写真の中から、とっておきの一枚を印刷し、飾る準備とPRを行う。

- ・ 学校の魅力が伝わる写真展をまずは校内で開こう。
- ・ 見に来てくれた人に、インタビューをして、感想をもらおう。
- ・ もらった感想を次に生かせるようにしよう。
- ・ いつも学習のサポートをしてくださる地域の方の写真も撮らせていただきたいね。

## V まちの魅力を伝える写真を撮ろう (総15国3)

- 自分が伝えたいと思う魅力あるまちの人、もの、場所を考える。
- 撮影させていただく許可をいただいたり、その場所、人の取材をしたりする。
- どんな瞬間を撮影したいか、考え撮影をする。

- ・ まずはステフェスに向けて写真を撮っていこう。
- ・ 働く人の思いやこだわりが伝わる写真にしたいな。
- ・ 撮った写真を、専門家の人に見てもらいたいな。
- ・ 音や声も見えるような写真を撮りたいね。

## VI まちの魅力を伝える写真展を開催しよう。(総10国3)

- 写真展を開催する場所を考え実際にその場所に行って開催のお願いする。
- 写真展の構成を考える。
- 撮影した中から、クラスのみなどで、写真展に使用する写真を選ぶ。
- PRの仕方を考え、実行する。
- 飾る準備、役割分担を考える。
- 実際にどんな場所か、どんな魅力があるか、来てくださった方にインタビューをしたり地域の方の話を聞いたりする。

- ・ 写真にピッタリ合う題名をつけたいね。
- ・ 地域の方以外にも見ていただける場所を選びたいな。
- ・ 自分たちの思いも伝えたいね。
- ・ 今までほかの学年が学習してきた「地域のよさ」のことも伝えられるといいな。

## VII 活動を振り返ろう (総4)

- 自分たちに身に付いた力を振り返る。
- 6年間の総合を振り返る

- ・ まちの人を笑顔にできたかな。やっぱり、このまちの魅力がたくさんあるね。
- ・ まちが魅力的なのは、それを支える地域の方がいるからだね。
- ・ まちの人、そして全校の人ともかかわることができた。
- ・ 卒業しても地域の一員としてできることを考えていきたいな。

ただ撮影するのではなく、その場所に何度も通ったり、対象となる人と何度も話したりして、まちの見えるものだけでなく、声や音、働く人の思いやすごさなど、自分が表したいことが伝わる写真になるように工夫する。

11月に行われる地域の祭りに参加し自分たちの写真のPRや、その行事の様子も写真に写し、地域の学校や町内会、店、区役所などが協力しあってイベントを行う様子も景観としてとらえながら良さを感ぜられるようにする。

まちの魅力を広く発信しやすい地域の施設を借りることができるようにする。

子どもたちがまちをPRするとともに、来てくださった方とコミュニケーションを取れるように学校の学習発表会などで保護者や地域の方を相手に話す機会を設ける。

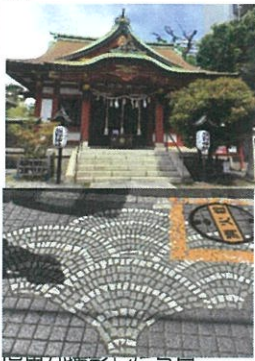


改めて知ったまちのよさ、かかわってくださった地域の方に感謝の気持ちをもつなど6年間のまちのかかわりをまとめ、まちの一員としてこれから生活していこうとする思いをもてるようにする。

<留意点>

- ・個人が特定される写真については、事前に許可を取るようにする。
- ・まち歩きで、写真を撮りに行くときには、安全に配慮する。

② 事業実施報告書詳細

学校名 幸ヶ谷小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
4	幸ヶ谷小 学区内  (グループに 分かれて調べ 学習)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のためにできることは何かを考え、自分自身が地域の魅力だと思う場所を中心に歩きながら「いまのまちの姿」を調べた。</li> <li>・教室に帰ってきた後は全員でそれぞれの見てきたものや感じたことを共有し自分たちが住んでいるまちのよさについて考えた。</li> </ul>	<p>区長さんに話をお聞きしたり地域の寺社や公園、道などの写真を撮って記録し、共有した。</p>  <p>児童が撮影した写真</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の寺社やお店、区役所の職員の方など、いろいろな方が子どもたちの質問に答えたり、いつもは入れないような場所に入れてくださったりして子どもたちの地域の方に対する思いは高まった。</li> <li>・グループに一人、見守りで地域の方や保護者の方についていただいたが、その方々もまちの変化などを教えてくださったので充実したまち歩きができた。</li> </ul>
3	幸ヶ谷 小学校 6年1組教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域にスタジオをもち、学校の写真も撮影して下さるカメラマンさんに来ていただき、写真を撮影するための心構えや、技術について教えていただいた。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの質問にたっぷり時間を取って答えてくださった。一番大切なのは「撮影するもの、人とたくさんコミュニケーションをとること」「自分が対象の魅力を見つけ、それを表したいと思うこと」と教わり、子どもたちのこれからの撮影に向けた意識が変わった。</li> </ul>
12	洲崎神社 学区内 すぐーろ ロイロノート	<p>○アンケートやインタビューで情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すぐーろやロイロを使って保護者の方や児童にまちの魅力についてアンケートを取った。</li> <li>・保護者300名ほどの回答をいただき、子どもたちの貴重な情報源となった。</li> <li>・まちのお祭りで、地域の方が集まる機会を利用して、区役所の方やお祭りに来た方にインタビューをして、まちの魅力や残していきたいものなどを聞いた。</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート結果やまちの人にインタビューをしたことを分析すると、まちの魅力として、「新しさや歴史が融合しているまち」、「人のあたたかさ」、「都会の中にもたくさんの公園で自然とかがわたり、四季を感じたりできる」ということが分かった。子どもたち自身が感じていたまちの魅力と、重なることが多く、これからの写真撮影に生かせると活動をを進める大きな手掛かりとなった。</li> <li>・ローカルテレビや新聞社、区役所の方々から取材をしていただき、自分たちの活動を価値づけしていただけたことでさらに意欲が増した。</li> </ul>	

2	かなっくホール	<p>○写真展 鑑賞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のホールで開催された写真展を鑑賞しに行く。</li> <li>・写真の展示の仕方や、主催者の方の動きや声のかけ方などを学んだ。また、モノクロとカラーの良さの違いや、題名の大切さなどについても教えていただいた。</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「写真に動きがあって、声が聞こえてきそう」など、自分が「素敵」と思う写真を見つけたり、撮影したときの工夫を聞いたりして、より写真の魅力に気付くことができた。1枚の写真から話し合がいろいろできて、想像が広がる写真を撮りたいと、自分たちの目指す写真について考えることができた。</li> <li>・構図と題名に大きく関係があり、中心にあるもの=伝えたいことというわけではないことを知った。</li> <li>・横、縦の使い分けやライトの効果的な活用、台紙を使うことの効果（映える色など）についても考えることができた。</li> <li>・同じ桜を写しても、撮影の仕方、明るいイメージ、寂しいイメージを感じられた。</li> </ul>
12	学校内 ときどき 子どもたちの 生活圏の学区 外	<p>○学校行事や地域の撮影</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カメラマンの方に、「とにかくたくさん撮影しよう」と教わったので、本やインターネットなどでそれぞれが学んだ撮影の方法で、写真とたくさんとり、学級で情報交換した。</li> <li>・学校の行事など、全校に呼びかけて、カメラマンとして、写真を撮った。また、編集の仕方なども、いろいろ試した。</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・カメラマンとして活動していることを保護者を含めて全校に周知していたので、周りの保護者の方が教えてくださったり、応援してもらえたりしたことに対して、感謝の気持ちをもてた。また、撮影した写真の良さを価値づけ、他学年の学級だよりに使うことで、自分がこだわった一枚に自信がもてた。</li> </ul>
2	幸ヶ谷小 6年1組 教室	<p>○景観街づくり学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜市都市整備局景観調整課の方に学校に来ていただき、「景観まちづくり学習」の出席授業をしていただいた。</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな場所、どんな気持ち、どんな活動、営みなが浮かぶか1枚の写真より深く理解する活動を通して、自分たちもこの3つを意識した撮影をしていきたいという気持ちをもてた。それから、まち歩きのために、3つの言葉を合言葉にして、撮影したり、どんな場所か、気持ちが言語化したりしながら撮影する様子が見られた。</li> </ul>
2	幸ヶ谷小 6年1組 教室	<p>○校内写真展</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内の、総合の発表をする行事で、写真展「六彩～6年間の感謝を込めて～」を開催した。今まで、運動会や学年集会、ペア学年活動、お世話になった方々を撮影してきた写真を展示する。見てくださった方に、今後の写真展開催に向けてのアドバイスなどをいただけるようにアンケートのお願いをした。</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までお世話になった幸ヶ谷小の魅力伝える写真展として、たくさんの方が見に来てくださったことに喜んでた。</li> <li>・見に来てくださった方に積極的に声をかけ、写真の感想を聞いたり、質問に答えたりしていた。マップや紹介文を付けた方が良いというアドバイスをいただいたり、こだわった題名を褒めてもらえたりしたので、次の地域の写真展に向けての方向性を学級で考えることができた。</li> </ul>

1	幸ヶ谷小 6年1組 教室	<p>○プロの方からの講座 地域のお祭りで、子どもたちがカメラマンの方をスカウトし、講師として出前授業をしていただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構図・アングル・光・メッセージ性など基本的な技能面と写真で伝えることなどをおしえていただいた。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハイアングル、ローアングル、グリッド線をつかった構図をしり、今までの独学の撮影方法に対して目から鱗のような感覚を持っていた。次の日のまち歩きでは、早速教えてもらったことを使って、這いつくばりながら撮影したり、海の水平線を全体の1/3に合わせたりと工夫する姿が見られた。光も逆光だけでなく、自分が表したいものに合わせて、光を使うとする姿が見られた。</li> </ul>
12	学区内 5から6グループに分かれて  ときどき 子どもたちの生活圏の学区外	<p>○地域の写真 撮影</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が魅力を感じる場所やお店、人のところへ行って、写真を撮影した。</li> <li>また、公園を整備されている方やお店の方にお話を聞いて、思いやこだわりを知ったりしながら撮影した。</li> </ul>		 <p>教わったことを生かして、事前に考えていた表現したいことや、伝えたいメッセージなどを考えて、こだわって撮影していた。撮影後はすぐに共有し、みんなで写真の良いところやこだわりを、伝え合った。</p>
2	幸ヶ谷小 6年1組 教室	<p>○写真家の方からの出前授業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館から借りて勉強のために読んでいた写真集の写真を撮影された、武田康男先生に、出前授業をしていただいた。その一瞬を撮影するためにかける思いや時間、分からないことを調べていくことの大切さなどを教えていただいた。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語の「鳥獣戯画を読む」と関連付けて、武田先生の写真を分析し、鑑賞文を書くことで事前学習をしていたこともあり、どのようにして一瞬を切り取った写真を撮影できたのか、たくさん質問にこたえていただいた。たった一枚を撮るための執念やこだわり子どもたちは感銘を受けていた。</li> </ul>
10	幸ヶ谷小 6年1組 教室  学区内の取材した場所	<p>○写真展準備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真の選定、写真に題名をつける。</li> <li>・看板や挨拶、地域のマップ作成、宣伝活動など写真展を鑑賞しに行ったことを思い出し、自分たちでやる米ことを出し、計画的に行った。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・取材させていただいたお店や、保育園幼稚園、マンション、全校、地域と毎日チラシを持って帰っては、宣伝活動を行っていたようだ。お世話になった方に招待状を書き見に来ていただけるように準備をした。</li> <li>・題名もまた、悩みながら、友達と相談しながら考えていた。</li> </ul>
2	横浜新都市ビル そごう9階 シビルプラザ	<p>○写真展 「百花爛漫～最幸の一瞬を写した感謝の一枚」 開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・そごう横浜店9階シビルプラザという場所をお借りして、写真展を行った。</li> <li>・写真のほか、紹介文やマップを作成したが、写真を見て想像してほしいという思いから、紹介文はめくってみるようこだわっていた。</li> </ul>	 	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・400名ほどの方に見ていただき、子どもたちも来てくださった方にどんどん話しかけて写真の感想や、自分たちの思いを伝えていた。そごうという立地もよく、幸ヶ谷のまちを知らないかたにもたくさん写真を見てもらえたことに喜んでいました。招待した方も来ていただき、一枚一枚の写真の良さや、こだわりを</li> </ul>

			認めていただけていたことも達成感につながった。
2	振り返り 幸ヶ谷小 6年1組 教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真展を開いてみて、どんな力が身に付いたのか、一年間の活動の振り返りをした。</li> <li>写真展で書いていただいたアンケートを読みながら自分たちの活動の成果について振り返った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月に掲げた、自分が身に付けたい力の振り返りと学級とし掲げていたゴールに対する振り返りをした。</li> <li>魅力を伝えられる写真を撮影すること、地域に感謝の気持ちを伝えること、クラス一丸となって活動することなどが達成できたと、子どもたちの中で実感ができた。</li> <li>自分たちの住む幸ヶ谷のまちがもっと好きになったと振り返った。</li> </ul>

### ③ 実施内容について

#### (1) 実施にあたり工夫した点

- 今年度の取り組みでは、「お世話になった学校や地域に感謝の気持ちを伝えたい」という思いからスタートし、そのために写真でまちの魅力を伝えよう広めよう、感謝の気持ちを伝えようという目的をもって行ったことで、一年間、目的意識を継続できた。
- 活動のゴールである写真展までの活動を見通せるように、①地域の魅力を発見する②写真の技術を向上させるという2本の柱で、子どもたち自身で活動の計画を初めに立て、途中で必要な活動があれば、つけたしたり、達成できれば丸を付けたりして次の活動に主体的に取り掛かれるようにした。
- 学校と地域を結び付け、学校の魅力を伝えることも必要と考えたため、保護者の方にアンケートを取ったり、運動会ではカメラマンとして活動しているところを子どもたち発信で行ったりすることで、全校に6年1組の活動を知ってもらうことができた。地域ボランティアの方々も同時に知っていただいたので、たくさん活動に協力してくださった。

#### (2) 実施にあたり苦労した点

- またプロのカメラマンの方とどのようにコンタクトをとろうかと考えていたところに、子どもが探して声をかけたことからつながったので、結果的にはとてもよかった。
- 写真を撮影するために、宿フェスでは活動の主旨を伝えて撮影の許可をいただいた。学校の校内写真展では、展示で来た児童の顔が写ったとても良い写真を、地域の写真展では、個人情報の関係で出せないことが多かったのは残念だった。個人に許可を取ることはとても難しいので、人物については個人が特定されない写真を選択した。

#### (3) 児童の反応

- とにかく、たくさんの方にたくさん話しかけ、自分たちの活動を自分たちで進めようとする姿が見られた。
- 写真展を開催した後の子どもたちの発言
- 地域の写真を撮ることを通して、まちをいろいろな角度から見ることができた。6年間で一番人とかかわり、人のあたたかさという幸ヶ谷のまちの良さを実感した。
  - 違う地域の方もまちに住んでいる方も、幸ヶ谷のまちに対して、新しい発見をしていただけた。
  - 目的があると、技術は関係なく、よい写真が撮影できる。と写真を褒めてもらえたと同時に、自分たちの思いが伝わったと思った。
  - 世代が違って、見る視点や良さを感じる場所は、共通している。
  - 自分たちの感謝の思いとまちの魅力を発信することができた。

#### (4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

- 子どもたちの行動力とコミュニケーション能力の高さに驚いた。また、一人ひとりの撮影技術の習得のはやさやアングルや光をどう入れるか（逆光を生かすなど）を考えて撮影をしていることに驚いた。
- 写真展では、自分の写真だけでなく、友達の写真の解説までできる姿を見て、何度もいろいろなメンバー

でまちの撮影を繰り返してきたことが、協同的な学びになっていたと感じた。

・改めて地域の方々（お店や幼稚園、保育園）の方々が、子どもたちの活動にたくさん協力をしてくださったことにまちの温かさを感じた。

（5）今後の課題と取り組み（児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等）

・写真の技術、地域の魅力探しと、どちらも写真展を開催するにあたり中途半端にできないところもあり、時間がとても足りなかった。もう少し、教科との関連ができると、よかった。

・また、思ったよりも、子どもたちの「地域」が、横浜駅の方面でありもっと自分の住む学区を掘り下げられれば良かった。写真を撮影する前にもっと地域を歩いて、いろいろな場所を共有することで隠れた魅力などに気付くことができたと思う。